

平成 27 年国勢調査 従業地・通学地集計結果概要(福岡市)

1. 昼夜間人口比率の低下が続く

平成27年10月1日現在の従業・通学による福岡市の流入人口※1は247,660人で、前回調査(平成22年)に比べ523人増加しました(増加率0.2%)。流出人口※2も82,123人となり、前回に比べ9,056人増加しました(同12.4%)。

本市は流入人口が流出人口を上回る流入超過が続いていますが、流入超過人口は165,537人と、前回に比べ8,533人減少しています(同△4.9%)。

福岡市の夜間人口※3 1,538,681人に、流入・流出人口を加減した昼間人口※4は、1,704,218人となりました。夜間人口に対する昼間人口の割合を示す昼夜間人口比率は110.8%となり、100%を超えたものの、前回調査に比べ1.1ポイント低下しています。平成12年以降、流入超過人口の減少に伴い、昼夜間人口比率も低下が続いています。(表1、図1)

表 1 昼間人口及び夜間人口等の推移

国勢調査	常住地による人口 (夜間人口)			従業地・通学地による人口 (昼間人口)			流入超過人口		昼夜間人口 比率
	(人)	流出人口 (人)	流出人口 の増加率 (%)	(人)	流入人口 (人)	流入人口 の増加率 (%)	(人)	流入超過人口 の増加率 (%)	
平成7年	1,280,405	67,846	18.8	1,479,086	266,527	12.6	198,681	10.7	115.5
平成12年	1,336,662	70,644	4.1	1,531,174	265,156	△ 0.5	194,512	△ 2.1	114.6
平成17年	1,384,925	76,289	8.0	1,571,184	262,548	△ 1.0	186,259	△ 4.2	113.4
平成22年	1,463,743	73,067	△ 4.2	1,637,813	247,137	△ 5.9	174,070	△ 6.5	111.9
平成27年	1,538,681	82,123	12.4	1,704,218	247,660	0.2	165,537	△ 4.9	110.8

※平成17年以前の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含まず、平成22年以降の夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含む。

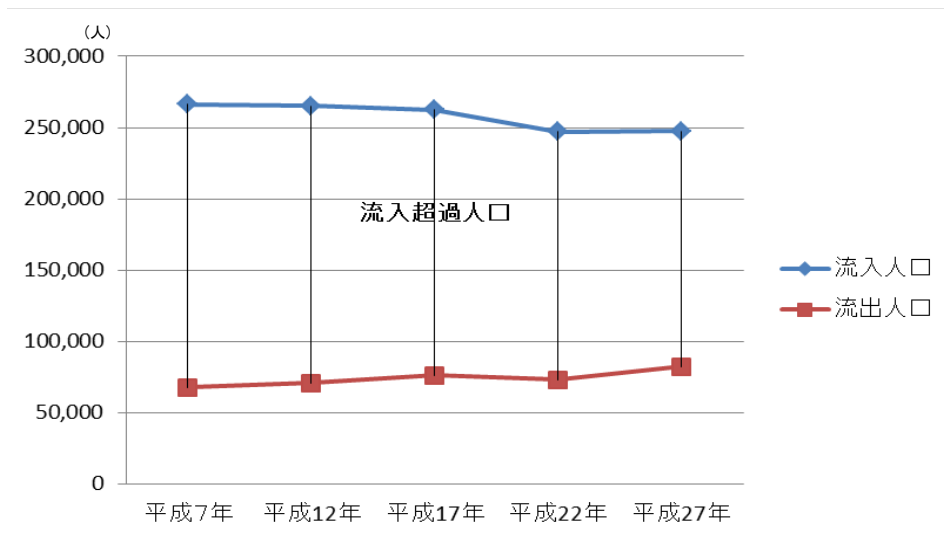
※1) 流入人口…福岡市以外に常住し福岡市へ通勤・通学する人口

※2) 流出人口…福岡市に常住し福岡市以外へ通勤・通学する人口

※3) 夜間人口…福岡市に常住している人口。平成17年以前は年齢不詳を含まない。

※4) 昼間人口…夜間人口に流入・流出人口を加減したものの。買い物客などの不定期な移動者は含まない。

図 1 流入・流出人口の推移



2. 行政区別

博多区、中央区のみ流入超過

行政区別に夜間人口及び昼間人口を見ると、夜間人口は東区の306,015人(構成比19.9%)が最も多く、次いで南区の255,797人(同16.6%)、博多区の228,441人(同14.8%)となっています。

一方、昼間人口は、博多区の381,926人(構成比22.4%)が最も多く、以下東区の303,352人(同17.8%)、中央区の296,992人(同17.4%)と続いています。

昼夜間人口比率を見ると、博多区が167.2%、中央区が154.1%と、昼間人口が夜間人口を大きく上回る流入超過となっており、その他の区はいずれも流出超過となっていますが、前回の昼夜間人口比率と比べると、中央区は5.5ポイント、博多区は5.0ポイント、西区は1.0ポイント、東区は0.9ポイント、南区は0.8ポイントといずれも低下していますが、城南区は1.6ポイント、早良区は0.5ポイント上昇しています。

(表2、図2・3)

表2 区別昼間人口及び夜間人口等の推移

	常住地による人口 (夜間人口)			従業地・通学地による人口 (昼間人口)			流入超過人口 (△は流出) (人)	昼夜間人口 比率 (%)
	(人)	構成比 (%)	流出口 (人)	(人)	構成比 (%)	流入人口 (人)		
平成27年								
福岡市	1,538,681	100.0	82,123	1,704,218	100.0	247,660	165,537	110.8
東区	306,015	19.9	66,390	303,352	17.8	63,727	△ 2,663	99.1
博多区	228,441	14.8	38,401	381,926	22.4	191,886	153,485	167.2
中央区	192,688	12.5	35,958	296,992	17.4	140,262	104,304	154.1
南区	255,797	16.6	68,653	223,162	13.1	36,018	△ 32,635	87.2
城南区	130,995	8.5	37,398	119,555	7.0	25,958	△ 11,440	91.3
早良区	217,877	14.2	57,059	196,052	11.5	35,234	△ 21,825	90.0
西区	206,868	13.4	51,084	183,179	10.7	27,395	△ 23,689	88.5
平成22年								
福岡市	1,463,743	100.0	73,067	1,637,813	100.0	247,137	174,070	111.9
東区	292,199	20.0	62,981	292,082	17.8	62,864	△ 117	100.0
博多区	212,527	14.5	36,112	365,990	22.3	189,575	153,463	172.2
中央区	178,429	12.2	34,476	284,690	17.4	140,737	106,261	159.6
南区	247,096	16.9	66,352	217,392	13.3	36,648	△ 29,704	88.0
城南区	128,659	8.8	37,499	115,358	7.0	24,198	△ 13,301	89.7
早良区	211,553	14.5	55,762	189,366	11.6	33,575	△ 22,187	89.5
西区	193,280	13.2	47,956	172,935	10.6	27,611	△ 20,345	89.5

※夜間人口・昼間人口には年齢不詳を含む。

※各区の流入・流出人口には本市の他区との流入・流出を含む。

※福岡市の流入・流出人口には本市の他区との流入・流出を含まない。

図2 区別昼夜間人口

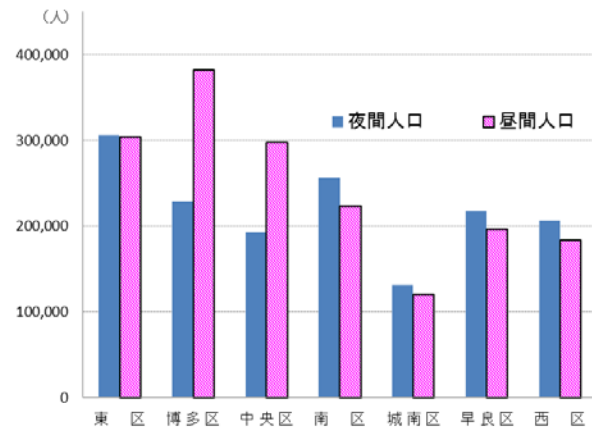
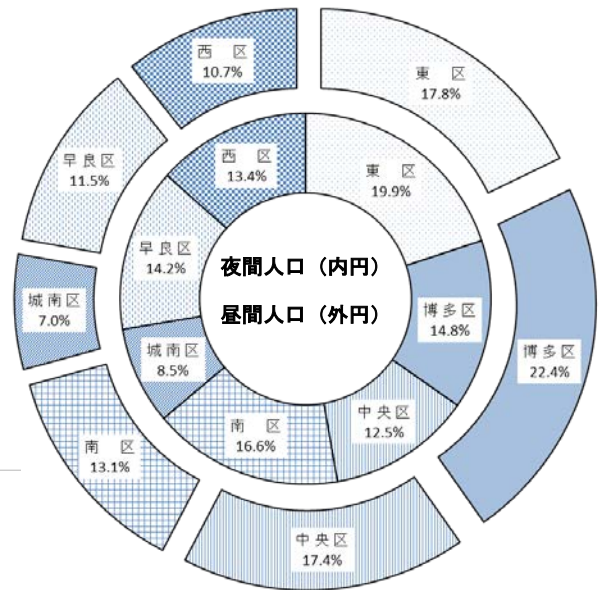


図3 区別の昼夜間人口対比



3. 年齢別, 性別

昼夜間人口比率は15～19歳が最も高い

年齢(5歳階級)別に見ると、15歳未満と65歳以上を除き、夜間人口・昼間人口・流出人口・流入人口のいずれも40～44歳が最も多くなっています。

昼夜間人口比率を見ると、いずれの年齢階層も昼間人口が夜間人口を上回る流入超過となっていますが、15～19歳と20～24歳の階層が他の階層に比べて昼夜間人口比率が高くなっています。(表3)

男女別では、男性の昼夜間人口比率は113.7%、女性は108.1%となっています。

さらに年齢(5歳階級)別に見ると、15歳未満と65歳以上を除き、男性は夜間人口・昼間人口・流出人口・流入人口の全てで40～44歳が最も多くなっています。女性は、夜間人口と昼間人口は40～44歳が最も多く、流出人口・流入人口は15～19歳が最も多くなっています。昼夜間人口比率を見ると、男性は55～59歳が125.7%と最も高く、女性は15～19歳の128.2%が最も高くなっています。グラフにすると、男性は15～19歳と55～59歳の階層を頂点とする二つの山を形作るのに対し、女性は15～19歳の階層を頂点として、年齢が高くなるにつれて緩やかに下降していきます。(表3, 図4)

図4 年齢別男女別昼夜間人口比率

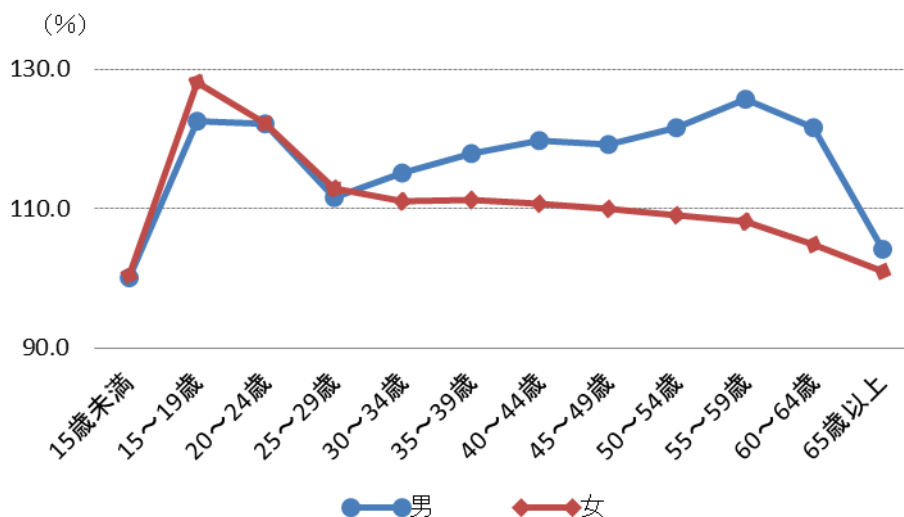


表3 年齢別・男女別の昼間人口及び夜間人口等

年齢別 (5歳階級)	常住地による人口 (夜間人口) (人)			従業地・通学地による人口 (昼間人口) (人)			流入超過 人口 (人)	昼夜間 人口比率 (%)
	構成比 (%)	流出人口 (人)	流入人口 (人)	構成比 (%)	流入人口 (人)			
総数								
総数	1,538,681	100.0	82,123	1,704,218	100.0	247,660	165,537	110.8
15歳未満	199,923	13.3	509	200,591	12.0	1,177	668	100.3
15～19歳	77,614	5.1	7,354	97,293	5.8	27,033	19,679	125.4
20～24歳	94,554	6.3	6,784	115,547	6.9	27,777	20,993	122.2
25～29歳	96,296	6.4	5,907	108,082	6.5	17,693	11,786	112.2
30～34歳	107,736	7.1	7,117	121,687	7.3	21,068	13,951	112.9
35～39歳	115,432	7.7	8,503	132,058	7.9	25,129	16,626	114.4
40～44歳	124,777	8.3	10,151	143,589	8.6	28,963	18,812	115.1
45～49歳	107,134	7.1	9,405	122,563	7.3	24,834	15,429	114.4
50～54歳	93,845	6.2	8,639	107,957	6.4	22,751	14,112	115.0
55～59歳	86,200	5.7	7,092	100,547	6.0	21,439	14,347	116.6
60～64歳	92,813	6.2	5,636	104,701	6.3	17,524	11,888	112.8
65歳以上	312,331	20.7	5,026	319,577	19.1	12,272	7,246	102.3
不詳	30,026			30,026				
男								
総数	726,666	100.0	54,252	826,213	100.0	153,799	99,547	113.7
15歳未満	102,307	14.4	296	102,496	12.6	485	189	100.2
15～19歳	39,355	5.5	3,958	48,228	6.0	12,831	8,873	122.5
20～24歳	46,486	6.5	3,423	56,785	7.0	13,722	10,299	122.2
25～29歳	44,679	6.3	3,369	49,848	6.2	8,538	5,169	111.6
30～34歳	50,551	7.1	4,504	58,212	7.2	12,165	7,661	115.2
35～39歳	55,138	7.8	5,867	65,015	8.0	15,744	9,877	117.9
40～44歳	60,356	8.5	7,058	72,297	8.9	18,999	11,941	119.8
45～49歳	51,781	7.3	6,687	61,741	7.6	16,647	9,960	119.2
50～54歳	45,455	6.4	6,099	55,235	6.8	15,879	9,780	121.5
55～59歳	41,837	5.9	5,110	52,587	6.5	15,860	10,750	125.7
60～64歳	44,423	6.3	4,128	53,999	6.7	13,704	9,576	121.6
65歳以上	128,393	18.1	3,753	133,865	16.5	9,225	5,472	104.3
不詳	15,905			15,905				
女								
総数	812,015	100.0	27,871	878,005	100.0	93,861	65,990	108.1
15歳未満	97,616	12.2	213	98,095	11.4	692	479	100.5
15～19歳	38,259	4.8	3,396	49,065	5.7	14,202	10,806	128.2
20～24歳	48,068	6.0	3,361	58,762	6.8	14,055	10,694	122.2
25～29歳	51,617	6.5	2,538	58,234	6.7	9,155	6,617	112.8
30～34歳	57,185	7.2	2,613	63,475	7.3	8,903	6,290	111.0
35～39歳	60,294	7.6	2,636	67,043	7.8	9,385	6,749	111.2
40～44歳	64,421	8.1	3,093	71,292	8.3	9,964	6,871	110.7
45～49歳	55,353	6.9	2,718	60,822	7.0	8,187	5,469	109.9
50～54歳	48,390	6.1	2,540	52,722	6.1	6,872	4,332	109.0
55～59歳	44,363	5.6	1,982	47,960	5.6	5,579	3,597	108.1
60～64歳	48,390	6.1	1,508	50,702	5.9	3,820	2,312	104.8
65歳以上	183,938	23.1	1,273	185,712	21.5	3,047	1,774	101.0
不詳	14,121			14,121				

※総数には年齢不詳を含むため、構成比は年齢不詳を除いて算出した。

※構成比の合計は必ずしも一致しない。

4. 大都市別

昼夜間人口比率は4番目に高い

東京都区部を含む21大都市について見ると、流入人口は東京都区部が3,180,851人と最も多く、以下、大阪市の1,092,061人、名古屋市の505,769人、横浜市の418,231人と続き、福岡市は247,660人で21大都市中5番目となっています。

一方、流出人口は横浜市が727,015人と最も多く、次いで東京都区部の419,999人、川崎市417,270人、さいたま市308,577人と続き、福岡市は82,123人で12番目となっています。

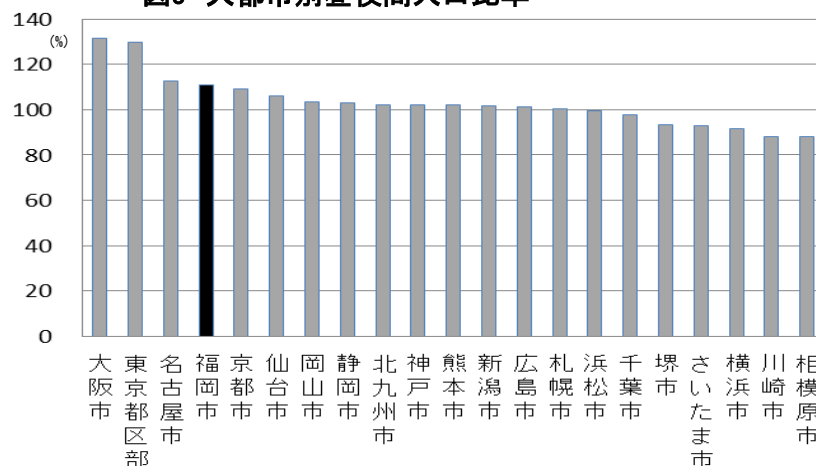
流入超過となったのは14都市で、流入超過人口は、東京都区部の2,760,852人が最も多く、以下、大阪市の852,264人、名古屋市の294,161人と続き、福岡市は165,537人で4番目となっています。流出超過となっているのは7都市で、東京都近郊の横浜市が308,787人で最も多く、次いで川崎市の172,726人、さいたま市の88,400人、相模原市の84,562人となっています。

昼夜間人口比率では、大阪市の131.7%が最も高く、次いで東京都区部の129.8%、名古屋市の112.8%と続き、福岡市は110.8%で4番目に高くなっています。(表4、図5)

表4 21大都市の昼間人口及び夜間人口等

21大都市	常住地による人口 (夜間人口)		従業地・通学地による人口 (昼間人口)		流入超過人口 (人)	昼夜間人口比率 (%)
	(人)	流出人口 (人)	(人)	流入人口 (人)		
札幌市	1,952,356	71,728	1,959,740	79,112	7,384	100.4
仙台市	1,082,159	62,597	1,148,389	128,827	66,230	106.1
さいたま市	1,263,979	308,577	1,175,579	220,177	△ 88,400	93.0
千葉市	971,882	194,388	951,528	174,034	△ 20,354	97.9
東京都区部	9,272,740	419,999	12,033,592	3,180,851	2,760,852	129.8
横浜市	3,724,844	727,015	3,416,060	418,231	△ 308,784	91.7
川崎市	1,475,213	417,270	1,302,487	244,544	△ 172,726	88.3
相模原市	720,780	165,545	636,218	80,983	△ 84,562	88.3
新潟市	810,157	39,372	822,469	51,684	12,312	101.5
静岡市	704,989	31,934	726,136	53,081	21,147	103.0
浜松市	797,980	49,794	792,639	44,453	△ 5,341	99.3
名古屋市	2,295,638	211,608	2,589,799	505,769	294,161	112.8
京都市	1,475,183	114,542	1,608,216	247,575	133,033	109.0
大阪市	2,691,185	239,797	3,543,449	1,092,061	852,264	131.7
堺市	839,310	173,307	785,324	119,321	△ 53,986	93.6
神戸市	1,537,272	179,247	1,571,625	213,600	34,353	102.2
岡山市	719,474	53,232	745,199	78,957	25,725	103.6
広島市	1,194,034	71,997	1,211,020	88,983	16,986	101.4
北九州市	961,286	50,851	983,517	73,082	22,231	102.3
福岡市	1,538,681	82,123	1,704,218	247,660	165,537	110.8
熊本市	740,822	55,732	756,852	71,762	16,030	102.2

図5 大都市別昼夜間人口比率



5. 市内に常住する15歳以上就業者・通学者の従業・通学地

他県への従業・通学は増加

福岡市に住んでいる15歳以上の就業・通学者数は751,003人となり、うち就業者は667,895人(構成比88.9%)、通学者は83,108人(同11.1%)となりました。

このうち、市内で従業・通学する15歳以上就業者・通学者数は619,515人で構成比は82.5%となり、前回と比べると963人減少しました(増加率△0.2%)。一方、市外へ従業・通学する15歳以上就業者・通学者数は84,703人で構成比は11.3%となり、前回と比べると16,002人減少(増加率△15.89%)しました。

他市町村への従業・通学を地域別に見ると福岡県内が69,235人と最も多く、そのうち8割近くの54,748人が福岡都市圏へ従業・通学(=福岡都市圏への流出)しており、他市町村で従業・通学84,703人の約6割以上を占めています。

他県への就業・通学者数は、12,379人で前回と比べると4,806人増加しました(増加率63.5%)。

(表5・図6)

表5 福岡市に常住する15歳以上就業者・通学者の従業・通学状況

従業・通学状況	平成22年		平成27年		15歳以上 就業者 (人)	15歳以上 通学者 (人)	男 (人)	女 (人)
	(総数) (人)	構成比 (%)	(総数) (人)	構成比 (%)				
総数 1)	756,871	100.0	751,003	100.0	667,895	83,108	399,581	351,422
自市で従業・通学	620,478	82.0	619,515	82.5	550,053	69,462	317,514	302,001
自区で従業・通学	355,661	47.0	349,786	46.6	308,041	41,745	169,430	180,356
自宅	39,089	5.2	43,899	5.8	43,899	-	24,529	19,370
自宅外	316,572	41.8	305,887	40.7	264,142	41,745	144,901	160,986
自市内他区で従業・通学	264,817	35.0	269,729	35.9	242,012	27,717	148,084	121,645
他市町村で従業・通学 2)	100,705	13.3	84,703	11.3	74,888	9,815	55,857	28,846
県内	65,053	8.6	69,235	9.2	61,393	7,842	43,775	25,460
福岡都市圏	50,110	6.6	54,748	7.3	48,981	5,767	33,060	21,688
筑紫地域	19,401	2.6	21,558	2.9	18,401	3,157	12,753	8,805
糟屋地域	23,550	3.1	25,066	3.3	23,552	1,514	15,679	9,387
宗像地域	2,643	0.3	3,108	0.4	2,427	681	1,786	1,322
糸島市	4,516	0.6	5,016	0.7	4,601	415	2,842	2,174
県内他市町村	14,943	2.0	14,487	1.9	12,412	2,075	10,715	3,772
北九州市	4,605	0.6	5,179	0.7	4,492	687	3,850	1,329
久留米市	3,151	0.4	3,321	0.4	2,592	729	2,292	1,029
他市町村	7,187	0.9	5,987	0.8	5,328	659	4,573	1,414
他県	7,573	1.0	12,379	1.6	10,595	1,784	10,181	2,198

1) 従業地・通学地「不詳」を含む。

2) 他市町村に従業・通学で、従業・通学市区町村「不詳」を含む。

6. 市内に従業・通学する15歳以上就業者・通学者の常住地

他市町村常住者の約7割以上が福岡都市圏内

福岡市内に従業・通学する15歳以上の就業者・通学者数は915,872人で、うち就業者は802,545人(構成比87.6%)、通学者は113,327人(同12.4%)となりました。

このうち、他市町村に常住する15歳以上就業者・通学者数は246,483人で構成比は26.9%となり、前回と比べると573人増加しています(増加率0.2%)。

他市町村の常住地を地域別に見ると、福岡県内が221,423人と最も多く、そのうち7割以上の172,289人が福岡都市圏に常住(=福岡都市圏からの流入)しており、他市町村常住者246,483人に占める割合も約7割近くとなっています。

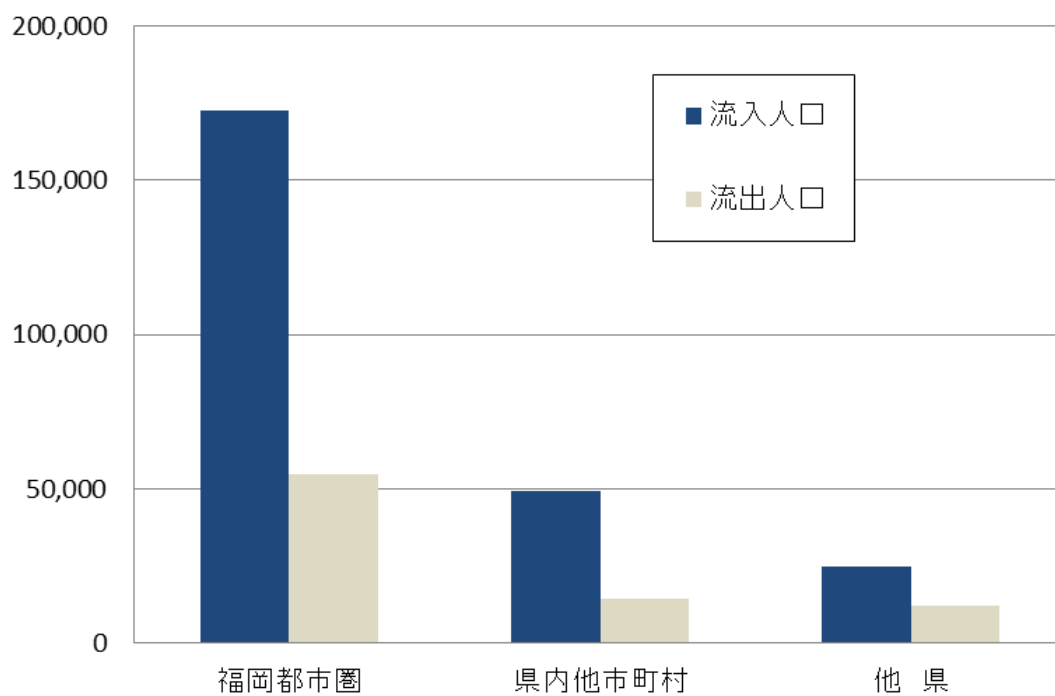
また、他県常住の就業・通学者数は25,060人で、前回と比べて5,948人増加しました(増加率31.1%)。(表6・図6)

表6 福岡市に従業・通学する15歳以上就業者・通学者の常住状況

常住状況	平成22年		平成27年				男 (人)	女 (人)
	(総数) (人)	構成比 (%)	(総数) (人)	構成比 (%)	15歳以上 就業者 (人)	15歳以上 通学者 (人)		
総数 1)	930,155	100.0	915,872	100.0	802,545	113,327	498,939	416,933
自市に常住	620,478	66.7	619,515	67.6	550,053	69,462	317,514	302,001
自区に常住	355,661	38.2	349,786	38.2	308,041	41,745	169,430	180,356
自宅	39,089	4.2	43,899	4.8	43,899	-	24,529	19,370
自宅外	316,572	34.0	305,887	33.4	264,142	41,745	144,901	160,986
自市内他区に常住	264,817	28.5	269,729	29.5	242,012	27,717	148,084	121,645
他市町村に常住	245,910	26.4	246,483	26.9	206,638	39,845	153,314	93,169
県内	226,798	24.4	221,423	24.2	187,958	33,465	135,369	86,054
福岡都市圏	174,863	18.8	172,289	18.8	150,642	21,647	103,484	68,805
筑紫地域	82,437	8.9	81,097	8.9	72,308	8,789	48,122	32,975
糟屋地域	52,913	5.7	53,708	5.9	46,785	6,923	32,582	21,126
宗像地域	16,993	1.8	15,760	1.7	13,060	2,700	10,179	5,581
糸島市	22,520	2.4	21,724	2.4	18,489	3,235	12,601	9,123
県内他市町村	51,935	5.6	49,134	5.4	37,316	11,818	31,885	17,249
北九州市	10,185	1.1	10,209	1.1	7,700	2,509	7,035	3,174
久留米市	10,428	1.1	9,862	1.1	7,664	2,198	6,096	3,766
他市町村	31,322	3.4	29,063	3.2	21,952	7,111	18,754	10,309
他県	19,112	2.1	25,060	2.7	18,680	6,380	17,945	7,115

1) 従業地・通学地「不詳」で当地に常住している者を含む。

図6 福岡市の就業者・通学者の流入・流出人口



* * * * *

平成27年国勢調査の公表結果は、福岡市や総務省統計局のホームページでご覧いただけます。

福岡市の統計情報

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shisei/toukei/index.html>

総務省統計局ホームページ

<http://www.stat.go.jp/>